

エコアクション21 環境経営レポート 2023年度

(対象期間2023.7～2024.6)
ガイドライン2017年版
2024.8.30作成



ADJUST

株式会社アジャスト

目次

1.会社の概要	-----	1
2.環境活動組織図及び実施体制	-----	2
3.環境経営方針	-----	3
4.環境負荷の実績	-----	4
5.環境経営目標	-----	5
6.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	-----	6、7
7.環境関連法規への違反・訴訟などの有無	-----	8
8.代表者による全体評価と見直し	-----	9

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社アジャスト
代表取締役 保谷 博

(2) 事業所住所

〒203-0044 東京都東久留米市柳窪5-4-12

(3) 環境管理責任者 清水 勇貴

連絡先：電話番号 042-479-1861

FAX番号：042-479-1868

E-mail：info@adjnet.co.jp

URL：https://www.adjnet.co.jp

(4) 認証登録の範囲

本社・工場

(5) 事業内容

1. 金属及び樹脂の機械加工品の設計、製造・販売
2. ねじ類・締結部品の販売
3. 冷凍トラック内間仕切りの製造

(6) 事業の規模

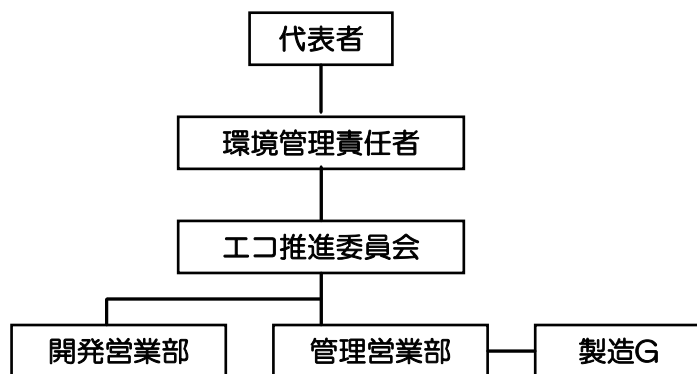
従業員数：11名

床面積：224.5㎡

売上高：220百万円



2. 環境活動組織図及び実施体制（役割・責任・権限）



	役割・責任・権限	実施時期
代表者（社長）	環境経営に関する統括責任	—
	環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備	適宜
	環境管理責任者を任命	適宜
	環境経営方針の策定・見直し	適宜
	環境経営目標・環境経営計画書を承認	7月・8月
	代表者による全体の評価と見直し、指示	7月・8月
	環境経営レポートの承認	7月・8月
	経営における課題とチャンスの表明	適宜
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理	適宜
	環境関連法規等の取りまとめ表を承認	7月・8月
	環境経営目標・環境経営計画書を確認	7月・8月
	環境活動の取組結果を代表者へ報告	7月・8月
	環境経営レポートの確認	7月・8月
エコ推進委員会	環境管理責任者の補佐	—
	環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施	7月・8月
	環境経営目標、環境経営計画書の作成及び実績集計	7月・8月
	環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理	7月・8月
	環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	7月・8月
	環境関連の外部コミュニケーションの窓口	—
	取組状況の確認・評価と問題の是正及び予防の実施	適宜
	環境経営レポートの作成	7月・8月
	環境経営方針の周知	—
	従業員に対する教育訓練の実施	適宜
	必要な手順書の作成	適宜
	想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成	適宜
	エコミーティングの開催	毎月
全従業員	環境経営方針の確認と理解	—
	環境経営計画の遵守と実施	—

3. 環境経営方針

環境理念

株式会社アジャストは
経営における課題とチャンスをつまみとることに、
かけがえのない地球環境の保全が、
私達世代の重要課題のひとつであると考え
持続可能な循環型社会形成に寄与できる事業活動を実施します

環境方針

1. 環境関連法規及び当社が同意した各種協定を遵守いたします
特に製品及び材料の化学物質の管理は、顧客の要求事項を遵守し
グリーン製品の創出に努めるとともに、当社としての管理体制を強化いたします
2. 資源エネルギーの使用や廃棄物の排出状況などをチェックし、
環境への負荷を常に意識し、Reduce（廃棄物削減）Recycle（再利用）、
環境配慮製品の調達（グリーン調達）に取り組みます
3. 環境保全に関する目標を設定し、実施した結果を見直すことにより、
継続的な環境改善活動を行います
4. 全社員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、
社員一人ひとりの環境に対する意識を高めるため、
環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着・向上に努めるとともに
環境活動計画及び実施ならびに環境関連情報については、
「環境レポート」に取りまとめ公表いたします



制定日2008年7月5日
改訂日2019年9月4日
株式会社アジャスト
代表取締役 保谷 博

4. 環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	193	185	220
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	26,624	24,438	26,352
電気使用量	kWh	31,529	28,883	35,294
ガソリン使用量	L	4,116	3,440	2,998
灯油使用量	L	1,062	980	1,195
ガス使用量	m ³	5	4	4
水使用量	m ³	51	56	63
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量				
可燃ゴミ	kg	185	233	364
ダンボール	kg	402	338	411
雑紙	kg	147	143	155
産業廃棄物排出量				
廃油	kg	360	360	495
廃プラ	kg	2,220	223	153
金属くず	kg	1,466	621	1,236

※二酸化炭素総排出量は「電気+ガソリン+灯油+ガス」使用量の合計を示す。

※電力の調整後排出係数は㈱日本テクノの2023年実績（0.465）に拠る。

5. 環境経営目標（2023年～2025年、3カ年）

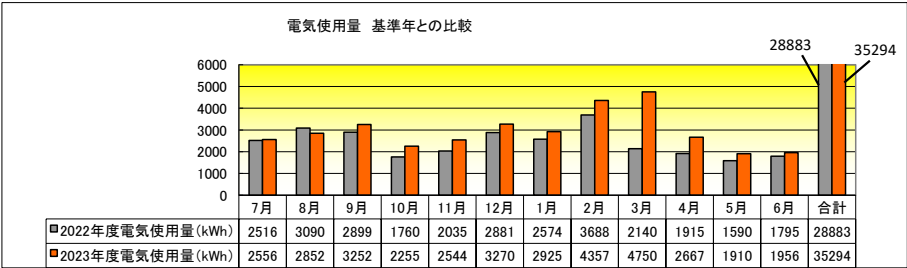
項目	単位	基準値	目標	実績	環境目標	環境目標
		2022年	2023年		2024年	2025年
電力使用量	kWh	28,883	-2% 28,305	35,294	-1%	-2%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	24,438	1% 24,682	26,352	-1%	-2%
電力	kg-CO2	14,008		16,412		
ガソリン使用量	L	3,440	3% 3,543	2,998	1%	0%
灯油使用量	L	980	-1% 970	1,195	-2%	-2%
ガス使用量	m³	4	0% 4	4	0%	0%
化石燃料合計	kg-CO2	10,430		9,940		
一般廃棄物量の削減	kg	714	2% 728	930	-2%	-3%
産業廃棄物量の削減	kg	1,204	3% 1,240	1,884	-2%	-3%
水使用量の削減	m³	56	-1% 55	63	-1%	-1%
環境への配慮 (自社間仕切りの販売)	台	10	15	44	17	18
環境教育	活動内容（次項による）					

※グリーン購入は必須項目ではなくなったため表から削除 2023/9/30

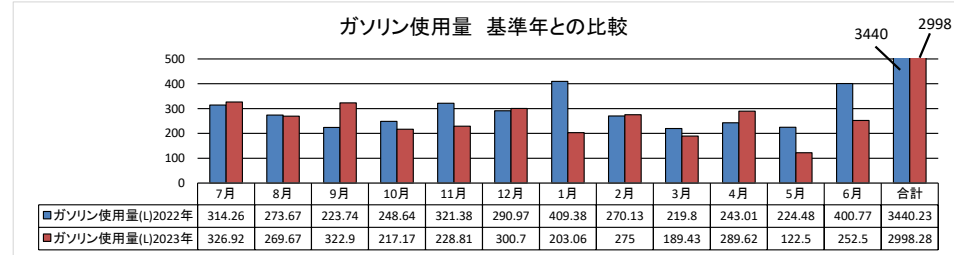
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成
活動：○できた △まあまあできた ×できなかった

電力使用量		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：28,305kWh 実績：35,294kWh							
活動内容	不要箇所の消灯	○	○	活動はできている。 オペレーターが増えたので、機械の稼働が上がってきた。	活動はできている。	活動はできている。 人員増加、機械稼働の増加により、目標達成はできなかった。	機械稼働による使用量の増加は致し方ない。 無駄遣いはしないよう引き続き活動していく。
	エアコン温度の適正管理	○	○				
	休日はPC・サーバー等電源を切る	○	○				
	エアコン・コンプレッサーの点検	○	○				
	サーキュレーターの併用	○	○				



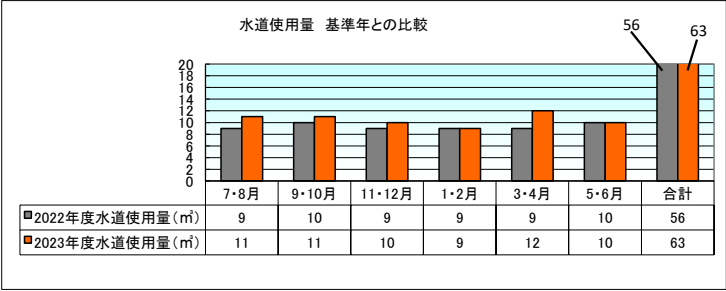
二酸化炭素排出量		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：24,682kg-CO2 実績：26,352kg-CO2							
活動内容	エコドライブの実施	○	○	活動はできている。	ストーブの稼働台数が増えたため、灯油の消費量も増えた。	活動はできている。 人員増加、機械稼働の増加により、目標達成はできなかった。	節約できるストーブ、もしくは別の暖房機器を検討する。
	アイドリングストップの実施	○	○				
	暖房機器の適正管理 (不在時消火等)	○	○				



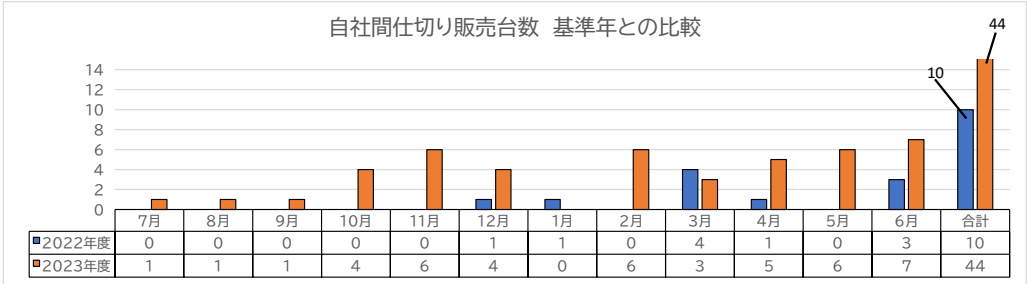
一般廃棄物排出量		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：728kg 実績：930kg							
活動内容	分別の徹底	○	○	活動はできている。	活動はできている。	外清掃を定期的の実施するようになり、ゴミの量が増えたと思われる。悪いことではないので継続する。	引き続き継続していく。
	梱包材の再利用	○	○				

産業廃棄物排出量		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：1240kg 実績：1884kg							
活動内容	不良品の再発防止	○	○	活動はできている。	活動はできている。	金属くずの廃棄が多かった。加工が増えた結果と思われる。	引き続き継続していく。
	適切な材料寸法にて発注	○	○				
	分別の徹底	○	○				

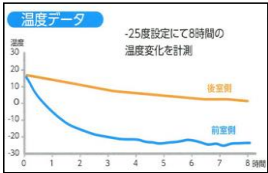
水使用量		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：55㎡ 実績：63㎡							
活動内容	節水コマの設置	○	○	活動内容はできている。 32㎡	活動内容はできている。 4月まで 21㎡	活動内容はできている。 引き続き無駄のないようにする。	引き続き継続する。
	節水型の石鹸の利用（エコサーフ）	○	○				
	蛇口をしっかり閉める	○	○				



環境への配慮		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：間仕切り販売台数15台 実績：44台							
活動内容	間仕切りの拡販	○	○	Y物流やP社から順調に注文が入ってきている。	5月にトラックショー出展。 反応が良かったようなので、今後案件が増えるかも。	拡販活動はできている。 目標を大きく上回ることができた。	引き続き活動していく。



環境教育		達成状況		取組結果とその評価 7～12月	取組結果とその評価 1～6月	取組結果とその評価 総評	次年度の取組内容
		7～12月	1～6月				
数値目標：－							
活動内容	エコミーティングの内容の周知	○	○	議事録を全員に送付。	議事録を全員に送付。	活動はできている。	引き続き継続して行う。



気密性に優れているので、設置することで輸送温度が異なる商品を1台のトラックで輸送することが可能になります。（例：チルド品と冷凍品の混載等）1台2役こなせるので、配送業務の効率化が図れます。

7. 環境関連法規への違反・訴訟などの有無

当社に適用される主な環境関連法規については適切に対応し、違反などの指摘は受けておりません。
また、環境関連訴訟及び近隣からの苦情はありません。

	法規名	当社対応
1	廃棄物の処理及清掃に関する法律	適切に対応している
2	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 ・アクトリクスストップ ・騒音規制	適切に対応している
3	フロン排出抑制法	適切に対応している
4	RoHS指令	適切に対応している

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

作成者 : 佐藤麻生

作成日時 : 2024年8月29日

見直し日時	2024年 8月29日(木) 10:00~11:00	場所 : 会議室
参加者	代表取締役 保谷博、環境管理責任者 清水勇貴、事務局：典子、越野、佐藤、安藤	

見直し情報	環境管理責任者				代表者
①環境関連法規制等一覧表 遵守状況の チェック結果	・事業活動に関連する環境関連法規を一覧表に取りまとめ、遵守状況を確認した。 ・違反はありません。 ・環境関連訴訟及び近隣からの苦情ありません。				今後、接着剤の取り扱いや作業環境が課題となりますので、溶剤を外部に排出する場合の、近隣との問題を考慮しつつ、製造と一緒に、整備してください
②環境経営目標の達成度	項目	目標	実績	評価	・電力が増えた原因は調査すべきです 当社の使用量が多いのは、工作機械とエアコンだと思います22年と23年の時間外業務を比較してみても？ ・ガソリンは今期からは堤谷さんいないので少しは減ると思います ・廃棄物は、間仕切りの物が多いと思いますが、本気でリサイクル（緩衝材等）を実施してください
	使用電力（kWh）	28,305	35,294	×	
	化石燃料CO2(kg-CO2)	24,682	26,352	×	
	一般廃棄物（kg）	728	930	×	
	産業廃棄物（kg）	1,240	1,884	×	
	水使用量（m³）	55	63	×	
	環境への配慮	15	44	○	
	環境教育	実施できている			
③環境経営計画の実施状況	・月次のチェックで環境目標の活動内容は年間通じてほとんど守られていることが確認できた。				問題ありません
④問題点の是正・予防処置の状況	・毎月開催のエコ推進委員会にて、環境で問題があれば会の中で是正、予防措置を行う。 ・産業廃棄物については、リサイクル、リユースできるものがないか検討する。				毎月の定例会にて、素早く対応していることは、とてもいいと思います 廃棄物に関しては、減らす対策が明確では無い気がします
⑤外部からの苦情の有無	・1年間の活動期間で、外部からの苦情はなかった。				今後も掃除も含め、近隣とのつながりを大切にしてください

代表者による指示		
変更の 必要性の 有無	①環境経営方針	変更なし
	②環境経営目標	昨年実績からの数値ではなく、自らの目標値を出すべきです
	③環境経営計画	同上
	④実施体制	最新の組織図に合わせてください
	⑤環境経営システム	変更なし

【全体の評価】
電気の使用料の原因究明は必要と思います それぞれの設備が時間当たりどれ位の、消費電力なのかが理解できていないと、対策が取れないので、消費電力一覧表を作ってみてはどうでしょう 産廃に関しては、製品梱包材以外でのリユースのアイデアが重要と思います